



さまざまな課題等について、議員が自身の提案も含めて、市に考えを聞くのが一般質問です。

県央基幹病院「役割変更」即、説明会を



ながい かきお
長井由喜雄
(日本共産党)

この項目について質問しました

- 1 県央基幹病院について
- 2 柏崎刈羽原子力発電所について
- 3 新生児難聴検査について



2023年春開院する県央基幹病院は、2018年3月以降「住民説明会」が開かれていない。しかし、地域医療構想調整会議では医師、看護師不足などを理由に当初計画から後退した「県央医療圏の役割分担」が示された。

問 1月に開かれた調整会議で「脳神経内科・脳神経外科・循環器内科医師が少ない」こと、「働き方改革」を理由に「県央医療圏の役割分担」が示され、これまで住民が描いてきた救命救急センターと違う病院になるのではないかとという大きな疑念が生じた。会議の中でも「病床は少なくとも高度救急は診ないので、労災病院の建て替えて、研修医にとつての魅力もない」との意見もあったとされる。住民抜きの役割変更は

受け入れられるものではない。市としても住民説明会を求めめるべきではないか。



答 確かに構想が出た当初の「救命救急センターを併設しすべての医療を県域内で完結できる体制」から違ってきた。調整会議では「今回の計画内容で現状やむを得ない」と結論づけられたまずは公表している「95%は断らない救急、マグネットホスピタルを目指す」ということを求め、住民説明会も求めていきたい。



造成が終わり建設工事が始まった県央基幹病院

速やかに効果的な交通安全対策を！



こばやしよしあき
小林由明
(チームつばめ)

この項目について質問しました

- 1 交通安全対策について
- 2 COVID-19対応について
- 3 産業支援について



市道東町11号線と周辺道路については、かねてより交通安全対策を強く求められている。警察に届け出ていない物損事故は日常茶飯事。



問 沿線住民は交通事故の不安と恐怖を感じながら日々生活している。ハンパ設置や迂回策など、効果的な交通安全対策を速やかに講ずるべきではないか。



答 企業からトラブルなどの声は直接寄せられてはいない。産業支援団体がオンラインに関する様々な支援制度を実施していて、それら情報提供を行うなど支援に取り組んでいきたい。



事業者のネット活用でのトラブルは？

非対面型ビジネススタイルへの転換など中小企業への



答 市道東町11号線は、歩行者にとって安全な道路とは言えない状況であると認識している。効果的な交通安全対策について関係機関と協議していく。



市道東町 11 号線。抜け道として通行量が多い



丸山吉朗 (大河の会)

この項目について質問しました
1 分水地区における諸問題、及び開発事業計画について



道の駅国上の指定管理について

問 道の駅国上の指定管理者の更新が来年3月であるが、新しい温泉井戸の掘削の計画はあるか。酒呑童子神社近くにキャンプ場を造つたらどうか。

答 現在、新しい事業者の募集をしていないので事業者からの提案はなく、新しい温泉井戸計画もない。近年、キャンプ場等は人気が高まっている。道の駅国上と一体的に集客効果を上げていく意味において、今後調査研究していきたい。

桜並木の延長、桜の植樹計画について

問 桜並木植樹計画、また通水100周年事業について。

答 新潟県及び関係9市町村が連携し、令和2年2月に大



桜並木復活プロジェクトを期待



堀勝重 (新風みらい)

この項目について質問しました
1 新型コロナウイルスワクチン接種受付業務について
2 燕市の新たな魅力づくりについて



市民の皆様が安心して受ける受付業務に!!

問 4月19日から始まった新型コロナウイルスワクチン接種受付業務開始後、すぐに電話がつながらなくなり、市民の皆様からの苦情が相当数あったようであるが、今後の受付業務の方法等と体制について伺う。

答 多くの市民の皆様方に、ご不便をおかけし心よりお詫び申し上げます。一連の混乱状況を招いた反省の上に立って、全庁体制で検討を進め、24時間予約可能なインターネット予約や、電話回線を20回線に増やす等、様々な改善と体制を備えつつ、円滑な予約受付に努めていく。

みんなが楽しめるキャンプ場の整備を!!

問 国上山の裾野に広がる自然豊かな場所に、新たなキャンプ場の整備を行うことで、交流・応援人口の増につながり、拠点の一つになると思うがいかがか。



緑豊かな自然の中、キャンプでリフレッシュ

答 道の駅国上の近くに温泉施設があり、さらに近隣には寺泊、弥彦等の観光資源もあることから、道の駅国上と一体的に集客効果を上げ、交流・応援人口を増やす意味においても、キャンプ場整備の可能性について、今後調査研究していきたい。



樋浦恵美 (公明党)

この項目について質問しました
1 食品ロスについて
2 公共交通について
3 コロナ禍で困窮する女性への支援について



公共交通は日常生活の大切な移動手段

問 燕・弥彦地域公共交通網形成計画に記載のスワロー号、やひこ号の利用者対象調査による改善してほしいサービスとして多いのは、運行本数、バス停の場所、運行時間が上位を占めている。今後、見直す考えはあるのか。

答 令和5年度に県央基幹病院の開院が予定されており、スワロー号の運行路線等の見直しが見込まれている。効率的で利便性の高い公共交通環境の整備を目指し、燕・弥彦地域公共交通会議に諮り、本計画の見直しを行いたい。



利用しやすい公共交通の改善を望む

コロナ禍で困窮する女性への支援を!

問 経済的な理由から、生理用品を購入できない問題は生理の貧困と呼ばれ、コロナ禍で顕在化した。

答 他自治体では、防災用に備蓄していた生理用品を市役所などで配布し、必要としている女性に提供している。生理用品の無償配布について、本市の考えを伺う。

問 コロナ禍で顕在化した生理の貧困という問題に対応していく必要があると考える。そのため6月定例会最終日に、生理用品の購入費も加えた補正予算を追加提案するつもりである。



中山真二 (新風みらい)

この項目について質問しました
1 コロナ対策について
2 地域振興について
3 企業の立地について



ふるさと納税とアフターコロナの支援策

問 ふるさと納税でコロナ対策用に目的を絞った寄附金の収支はどうなっているのか。

答 目標20億円に対し、23億2千万円の寄附があり、返礼品などの経費9億6千万円を除いた13億6千万円が新型コロナウイルス対策事業に活用可能であった。その内フェニックス11+など9億5千万円使い、現在4億1千万円が、今後の活用可能額である。
問 また、今6月議会で飲食店、酒小売店などに対して1店舗に20万円、500店舗分、1億円を支給する補正予算を議決いただいたことである。

問 さらになる寄附の募集と支援策は考えているか。

答 コロナを乗り越えて、不死鳥のごとくよみがえること



ちゃんと配られているのかこのクーポンは?

4千円を挟んだ広報管理体制に疑問

問 広報にクーポンを付けるという発想は良かったと思うが、現金4千円を挟んで配っていると置き換えて考えると、発行している広報の管理としては杜撰なやり方ではないか。

答 金券が故に、問題も生じないかと否定できないので今後取り扱いについて検討していきたい。





宮路敏裕 (日本共産党)

この項目について質問しました
1 新型コロナウイルス感染から市民の命と暮らしを守る施策について



ワクチン希望者を誰ひとり取り残すな

問 ワクチン接種受入には、情報提供や体制整備が必須である。同時に、無症状感染者の把握などPCR検査等を拡充してこそ、ワクチン効果も上がる。

答 集団接種での車いすやストレッチャーを使用する方、在宅介護の高齢者への対応は、接種を希望するが、分らない方へのフォローが必要ではないか。

答 車いすで来場する方も少なくはない。通路を広く取り、誘導スタッフが案内し、接種ブースでは、出入りを工夫している。ストレッチャー移動の方は、付き添う家族の負担を考え、かかりつけ医か、往診での接種をお願いしている。寝たきり高齢者には、地域包括支援センターなどを通じ、



新型コロナウイルスワクチン集団接種会場

問 感染者の早期発見と感染抑え込みを目的に設置。6月20日現在、1114人が受診、うち燕市在住者408人。検査キット申し込みが高齢者施設、障がい者施設、保育所等施設合計で、6月18日現在1978人である。

問 往診や個別に声かけをし、対応している。接種できなかった場合は市で把握し、地域包括やケアマネからの声掛けなど最後までフォローしていきたい。

答 飲食関係などを対象にした無料PCR検査や、PCR検査キットの配布支援事業の進捗状況は。



畑 隆 (大河の会)

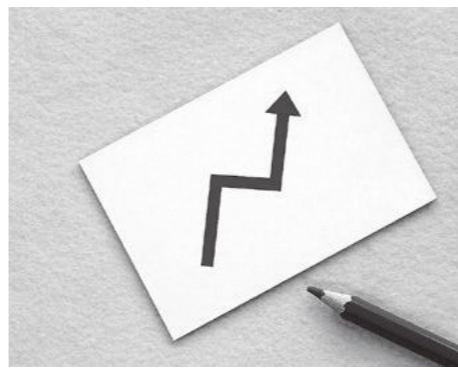
この項目について質問しました
1 少子高齢化の問題について
2 教育問題について
3 市道路線における植栽について

中心市街地の高齢化と自治会の在り方

問 令和2年度末の資料によれば、燕市全体の高齢化率は、31・2%であり、中心市街地ではこの数字を大きく上回ると考えられる。このような状況下で、いかにして自治会を維持していくのか。

答 高齢化が進むことにより、自治会活動の停滞や、自治会運営に支障をきたすことが課題となりつつある。各自治会の考え方を尊重しながら、自治会の維持活性化に向け、積極的に協力していく。

問 学力の向上を図ることは、大変難しい課題であり、特に燕市の場合、中学生に課題が多くあると考えるが、指導の方向性



学力向上は一筋縄ではいかない

答 授業改善を学力向上の主軸として、模範授業の実施や校内研修など学校支援を行ってきた。特に中学校では、学力向上プロジェクトとして研修会を行い、指導力向上を図ってきた。今後は、これらの取り組みにさらなる工夫を加え、学校と協力して学力向上対策を進める。



土田 昇 (日本共産党)

この項目について質問しました
1 下水道問題について
2 生活保護制度について



市の下水道の方向性と対応について

問 産業建設常任委員会の視察で、西川流域の下水道浄化センターに行った際の資料の中で、吉田地区の下水道処理人口は8495人で下水道処理人口普及率が35・5%、分水地区は下水道処理人口は5434人で下水道処理人口普及率が39・4%、旧燕地区は下水道処理人口は2万5253人で下水道処理人口普及率が59%であった。

答 また、市では普及率向上のための補助金制度があることを、「燕市のくらしと公共交通ガイド」で示している。普及率向上のため、市は今後も努力すべきと思うが基本的な認識について伺う。

答 県の西川流域下水道に接続する吉田、分水地区の処理方式と、市単独の下水処理場を有している旧燕地区方式の2つが併



普及率向上のために全力で頑張っている

在している現状がある。今後の人口減少社会を見据え、旧燕地区も西川流域下水道に接続した方が良いのか、旧燕地区の単独処理方式を継続する方が良いのか、2つのケースの詳細な経済比較を行う必要があると考える。この問題は、本市の今後の財政運営を考える上で重要な問題であり、その経過を適宜議会に報告していく。



柳川 隆 (市民クラブ)

この項目について質問しました
1 教育委員会が行う事業について



Jack&Bettyプロジェクトのよ

問 海外派遣事業では子供一人50万円近くの旅費がかかるが、その額について伺う。

答 本事業は教育立市宣言の中にある、人づくりに基づく大変有意義な事業であり、旅費の50万円をもって、高い低いを述べたものではないと捉えている。

問 海外に行くのではなく、国内で事業をやってもらいたい。Jack & Betty をタロウ & ハナコに改めたらよい。英語の能力を高めるのは大切であり、否定しないが、経費が



Jack&Bettyプロジェクト開講式

かり過ぎていのが問題。

答 郷土に愛着と誇りを持つという意味からは、海外で燕市をPRすることで、郷土への愛着と誇りを一層深めることができると考えている。

全天候型子供遊戯施設の整備について

問 全天候型施設は子育ての話であり、出生率の問題とは別だと思っているが。

答 人口減少は、自然動態と社会動態という2つの面から捉える問題。確かに全天候型子供遊戯施設を造ったからといって、子供を産み育てようと直接行動に結びつくのは小さいかもしれないが、子育て支援策が充実しているという評価が高まれば、燕市に移り住もうという社会動態に良い結果を与えることが期待できると考えている。





マークのQRコードを読み取ると、録画映像がご覧いただけます。「現場」の空気を感じてみてください



さいとうのぶゆき 齋藤 信行 (大河の会)

大河津分水路工事残土利用と通水100周年

問 大河津分水路工事の残土を利用し、市内のインフラ整備に活用することで、市の発展に資するのではないかと。大河津分水路通水100周年事業を契機に、燕市のPRと大河津分水路の重要性の認識を。

答 これまで残土は、分水バス、テル保育園、燕市・弥彦村統合浄水場事業用地造成土砂として活用した。令和2年度から、分水西部ほ場整備事業にも活用している。市の発展に資するインフラ整備を計画した際は積極的に活用したい。また、116号吉田

問 大河津分水路工事の残土利用の計画は、令和4年は通水100周年で、小中学校の児童生徒への関連した授業や、事業への児童生徒の参加はあるのか。

- 1 大河津分水路について
- 2 燕市夏まつりについて
- 3 小中学校の教育課題について



バイパスにも残土を利用し、早期の供用開始を図るよう国に要望している。

通水100周年に関連して、各校の教育活動の充実を図るための校長研修、4年社会科「大河津分水と人々の暮らし」における体験学習の充実、分水地区小中学校での総合的学習の充実に取り組んでいる。

問 大河津分水路通水100周年に大河津橋にナイアガラ花火を。

答 実行準備会もしくは、市の通水100周年プロジェクトで実現したい。



ナイアガラ花火を100周年の節目に



たなか 金 (市民クラブ)

くらしと公共交通がイデの配布について

問 6月1日に広報6月号と一緒に配布された「燕市くらしと公共交通ガイド」は、内容が充実しており、市民の暮らしに大変役立つものと評価している。(株)ゼンリンと燕市の共同事業による発行で、各世帯に無償配布するとされているが、全世帯に配布されたのか。

答 井土巻地区の井土巻2丁目から5丁目の方については、自治会の関係もあり配布していた。

問 (株)ゼンリンの提案に乗り、事業費は広告収入でまかなったので市の負担はないというが、これは民間の仕事である。それなのに、自治会に配らせている。これはおかしい話である。井土巻2からはアパート群で、転入された人たちも多いと思うが、配つ

- 1 燕市くらしと公共交通ガイドについて
- 2 燕尾エンジニアリングスクールについて
- 3 国定公園内における規制について
- 4 国上寺の花火葬について
- 5 道の駅「国上」について



ていない。また、灰方南についても配っていない。自治会長から重くて大変だったと聞いている。配布について、事前に自治会長に説明がされていたか。

答 事前にはお願いをしてなく、大変反省をしている。

問 全くもってなっていない。

答 おつしやるしており、自治会長に配ってもらうことで過度の負担を掛けてしまった。作成業者に世帯配布という方法を考えるべきだったと反省している。



後で、井土巻2~5、灰方南にも配布された



おおいわ つとむ 大岩 勉 (新風みらい)

住宅用火災報知器10年点検啓発を

問 機器の点検や交換の指導はしているのか。

答 ホームページに掲載し、チラシの配布など啓発に努めていく。

問 横断歩道表示ラインや文字の改修を

答 道路管理者でパトロールを行い、速やかに警察へ連絡し、修繕依頼を行っていく。

問 防球ネットや国旗掲揚ポールが傾いているが安全なのか。

- 1 小中学校における教育と問題点について
- 2 市民生活の安全対策について



専門業者による遊具、体育施設の点検に追加することを検討する。

問 小学校通学路協力カラスの大群は危険だ!

答 通学路脇に100羽以上のカラスが飛んでいる所がある。恐怖を感じ、危険でもある。駆除できないものか。

問 鳥獣保護管理法により、捕獲処分は原則禁止されている。鳥よけ器具を取り付ける場合もあるので協議していく。



カラスの大群が電柱に群がる



おかやまひでよし 岡山 秀義 (チームつばめ)

高齢者を市全体で支え合えるまちづくり

問 つながりが希薄化し、高齢者の独立化が進んでいる。独居世帯4178世帯・独居を除く高齢者世帯3521世帯、合わせて7699世帯。高齢者だけで暮らしている方が1万1000名以上いる。

答 地域コミュニティによる支え合い、助け合う取り組みが一層必要ではないか。

問 高齢者世帯だけでは解決できない課題などについて、実態を把握分析し、様々な事業を生かしていきたい。

- 1 高齢者支援について
- 2 市民の安全対策について



市民の尊い命を守るために

問 市内全域でカーブミラーの老朽化が進んでいる。また、近年の異常気象や強風で日々折損の危険がある。人の命を守るカーブミラーが管理されてなければ、人の命をも奪う凶器となりかねない。安全管理について問う。

答 交通安全協会や自治会などと連携し、安全管理に努めていく。



危険なカーブミラーお知らせください!